

# 第3学年 算数科学習指導案

日時 平成16年11月18日(木)6校時  
 児童 3年ろ組 こまち(発展)コース  
 男子11名 女子11名 計22名  
 指導者 小野寺 健

1 単元名 「かけ算のしかたを考えよう(かけ算のひっ算1)」(東京書籍)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の第3学年の内容「A(3)乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。」を受けたものである。筆算形式による2、3位数に1位数をかける乗法の計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を伸ばすことを主たるねらいとしている。

子どもたちはこれまでに、乗法九九については2学年で学習しているが、本学年ではその後を受けて、第1単元で乗法九九についての理解をまとめたり、乗法の交換法則や、乗数が1ずつ増減するときの乗数と積の変化の関係について学習したりしている。

本単元では被乗数が何十、何百の乗法(20×3や300×5など)を1位数どうしの乗法に帰着させる計算のしかたを理解し、その計算ができるようにする。また、これらのことをもとにして、2位数、3位数に1位数をかける計算を導入し、乗法の筆算形式とともに、その計算の原理や手順について理解を図る。

なお、その際に下記の事項についての理解を深めるように意図している。

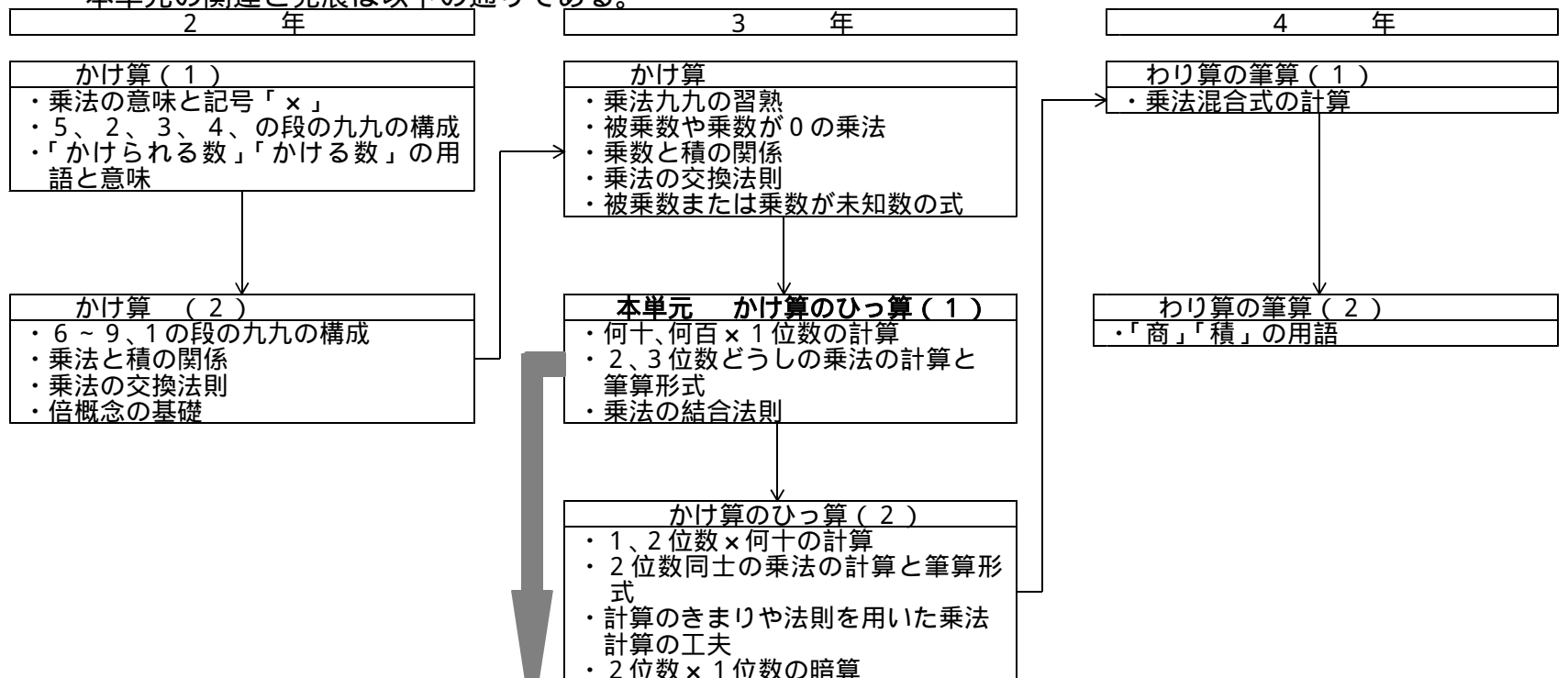
十進位取り記数法の原理の理解を基本とし、事実即して分配法則の考えを用いること。

乗法の(基準の大きさ)×(基準の大きさを単位とした数)という意味の理解を深めること。

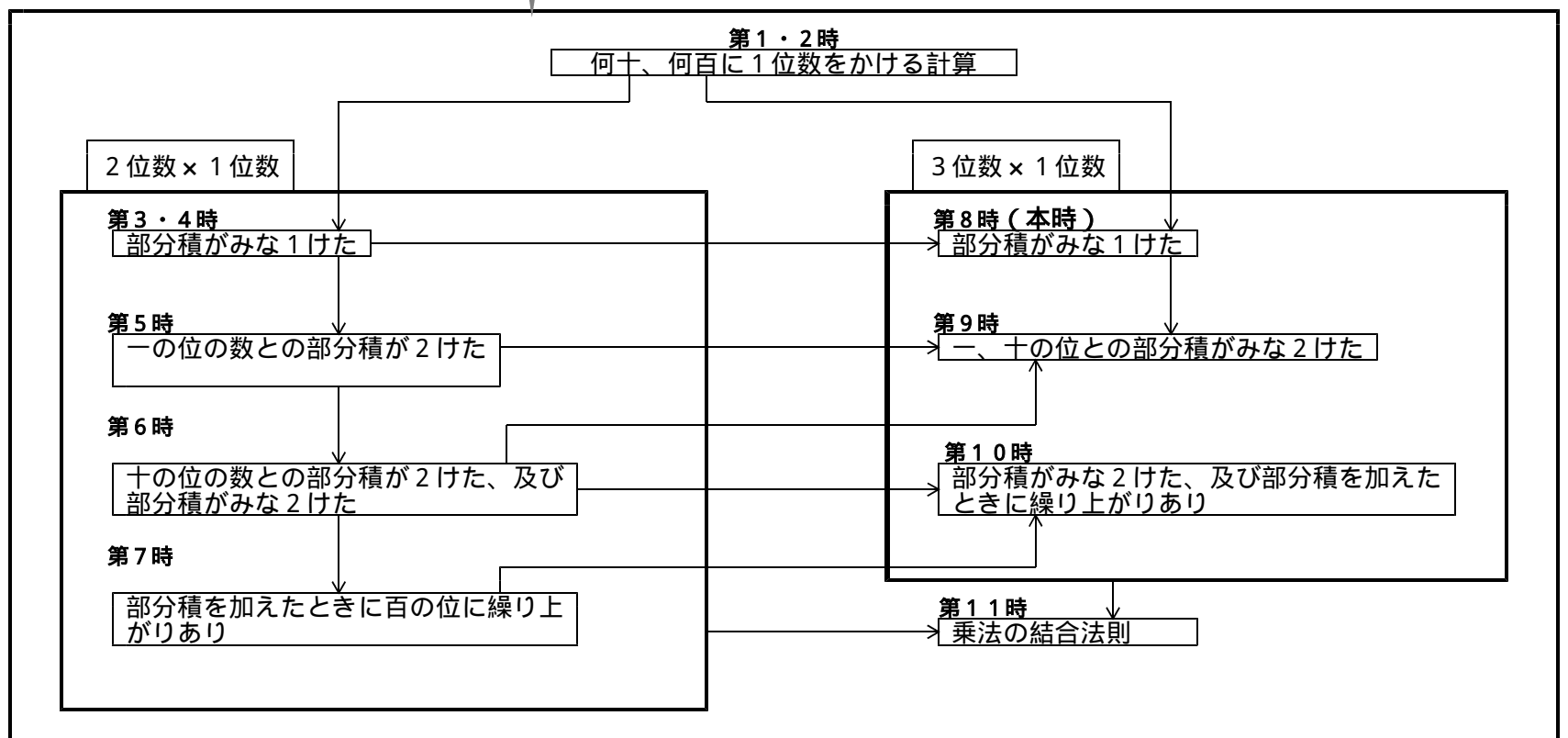
さらに乗法に関して成り立つ結合法則について調べ、それを計算のしかたに生かすことなどをねらいとしている。

本単元の学習は本学年の第13単元の2位数どうしをかける計算の基礎にあたっているので、計算の原理や手順を確実に理解するとともに、技能的にも十分高めておくことが必要である。

本単元の関連と発展は以下の通りである。



単元の教材構造



## (2) 児童観

本単元では、2、3位数×1位数の計算と筆算の形式について学習する。

児童は第2学年において、乗法に関して成り立つ性質、乗法九九について学習してきている。そして本学年の第1単元で、乗法九九についての理解をまとめてきている。そのため、乗法九九の計算についてはほとんどの児童ができています。しかしレディネステストの結果を見ると、筆算形式は理解できているものの、筆算についての原理の理解や筋道を立てて説明することを苦手とする子どもがいる。また単元の学習が進むにつれ、定着度に差が生じてくることが予想される。そのため、少人数指導の利点を生かし、既習事項をもとに数学的な考え方を伸ばしていくことをねらう「こまちコース」と、個に応じた教師の支援をより多くしていく「はやてコース」に分け、両コースともに単元の目標に迫らせたい。

本コースには、算数の学習、特に計算が好きな児童が集まっている。しかし、その中には新しい問題に対し、多様な方法で解決しようとする児童も見られるが、全体としてはまだまだ進んで筋道を立てて考えたり、自分なりに考え方を工夫したりして解決に取り組むことが不十分である。特に、文章題などの問題場面をイメージ化につなげることが苦手な児童が多々見られる。

## (3) 指導観

本単元の学習では、被乗数が、何十、何百の乗法(20×3や300×5など)を1位数同士の乗法に帰着させる計算のしかたを理解し、その計算ができるようにする。そしてこれらのことをもとにして、2位数、3位数に1位数をかける計算を導入し、乗法の筆算形式とともに、その計算の原理や手順について理解を図る。また自分の考えを友達に分かりやすく説明したり、活動したりして『既習の事項から新しい計算をつくり出すこと』、『既習の事項を根拠にして自分の考えを説明できること』を目標とする。

そこで本単元の指導にあたっては、上記のような児童の実態を踏まえ、以下のような点に留意して指導していきたい。まず、既習の(1位数)×(1位数)の計算や(何十)×(1位数)の計算を使って、児童が自らその計算の仕方を考える算数的活動を大切にしたいと考える。学習をするにあたり、筆算方式の計算が確実にできるとともに、本単元の基礎・基本として児童が既習の知識・技能・考え方を活用し、計算のしかたを考えたり作り出したりする力をつけさせたい。その中で、数のしくみや計算のきまり、かけ算九九など基礎的・基本的な知識や技能のよさを再確認し、筆算のしくみを確実に身に付けさせていきたい。乗法が用いられる場面については、言葉の式やテープ図と対応させながら、繰り返し指導し、意味理解を深めたい。

## 3 目標

筆算形式による2、3位数に1位数をかける乗法計算のしかたについて理解し、それをを用いることができる。

< 関心・意欲・態度 > ・筆算形式による2、3位数×1位数の計算のしかたを、既習の乗法計算のしかたをもとに考えようとする。

< 数学的な考え方 > ・筆算形式による2、3位数×1位数の計算のしかたを、数の構成や十進位取り記数法をもとに考える。

< 表現・処理 > ・2、3位数×1位数の計算を筆算で正確にできる。  
・乗法の結合法則を計算に用いることができる。

< 知識・理解 > ・2、3位数×1位数の筆算のしかたを理解する。  
・乗法の結合法則を理解する。

4 指導計画と評価計画

時	目 標	学習内容・活動	評 価 規 準 ・ 具 体 の 評 価 規 準				主な算数的活動
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	
1	・何十、何百に1位数をかける乗法計算のしかたを理解し、その計算ができる。	・九九表の空欄の数の求め方を考える。 ・ $20 \times 3$ の計算のしかたを考える。	・何十×1位数の計算を、1位数×1位数の計算をもとにして考えようとしている。	・何十×1位数の計算を1位数×1位数の計算をもとにして考えている。			仮説イ ・ $20 \times 3$ の計算のしかたを模擬貨幣や図を使って考える。
			A 2つ以上の方法で考えている。 B いずれかの方法で考えている。	A $2 \times 3$ の計算をもとに $20 \times 3$ の答えを求め、説明できる。 B $2 \times 3$ の計算をもとに $20 \times 3$ の答えを求めることができる。			
2		・ $300 \times 5$ の計算のしかたを考える。		・何百×1位数の計算を1位数×1位数の計算をもとにして考えている。			仮説イ ・ $300 \times 5$ の計算のしかたを模擬貨幣や図を使って考える。
				A $3 \times 5$ の計算をもとに $300 \times 5$ の答えを求め、説明できる。 B $3 \times 5$ の計算をもとに $300 \times 5$ の答えを求めることができる。			
3	・2位数×1位数（部分積がみな1けた）の計算は、被乗数を位ごとに分け、乗数をかけて部分積をたして計算することを理解する。	・ $23 \times 3$ の計算のしかたを模擬貨幣や式などを用いて考え、答えを求める。 ・被乗数を位ごとに分け、乗数をかけて部分積をたすことをまとめる。	・2位数×1位数の計算を既習の方法をもとに考えている。				仮説イ ・ $23 \times 3$ の計算のしかたを模擬貨幣や式などを用いて考える。
			A 2つ以上の方法で答えを出し、説明できる。 B 1つの方法で答えを出すことができる。				
4	・2位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算形式のしかたを理解し、その計算ができる。	・ $23 \times 3$ の筆算のしかたを位取り図と対応させて考える。 ・筆算のしかたをまとめる。	・2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九に帰着して考えている。	・2位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算ができる。			仮説ア ・ $23 \times 3$ の筆算のしかたを位取り図と対応させて考える。
			B $23 \times 3$ の筆算のしかたを位取り図と対応させて説明できる。	A P 7 の問題が全問正解。 B P 7 の問題が3問以上正解。			
5	・2位数×1位数（一の位の数との部分積が2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。	・1辺が16 cmの正方形の周長を求める式を考える。 ・ $16 \times 4$ の計算を筆算でするしかたを考える。		・2位数×1位数（一の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。	・2位数×1位数の筆算のしかたを理解している。		仮説イ ・ $16 \times 4$ の計算を筆算でするしかたを考える。
				A P 8 の問題が5問以上正解。 B P 8 の問題が3問以上正解。	A $16 \times 4$ の筆算の手順が言えるとともに、その原理を説明できる。 B $16 \times 4$ の筆算の手順が言える。		
6	・2位数×1位数（十の位の数との部分積が2けた及び部分積がみな2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。	・ $42 \times 3$ 、 $58 \times 3$ の筆算のしかたを考える。 ・筆算のしかたをまとめる。		・2位数×1位数（十の位の数との部分積が2けた及び部分積がみな2けた）の筆算ができる。			仮説イ ・ $42 \times 3$ 、 $58 \times 3$ の筆算のしかたを考える。
				A P 9 の問題が7問以上正解。 B P 9 の問題が4問以上正解。			
7	・2位数×1位数（部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。	・ $29 \times 4$ や $75 \times 4$ の筆算のしかたを考える。		・2位数×1位数（部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり）の筆算ができる。			仮説イ ・ $29 \times 4$ や $75 \times 4$ の筆算のしかたを考える。
				A P 9 の問題が7問以上正解。 B P 9 の問題が4問以上正解。			

8 ・ 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面をとらえて立式し、<math>312 \times 3</math>の計算のしかたを考える。</li> <li>筆算のしかたをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2位数×1位数と同じ原理・手順を使って、3位数×1位数の筆算のしかたを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 1 の問題が全問正解。</li> <li>B P 1 1 の問題が3問以上正解。</li> </ul>	仮説イ <ul style="list-style-type: none"> <li><math>312 \times 3</math>の計算のしかたを考える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（一、十の位の数との部分積が2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>386 \times 2</math>の筆算のしかたを考える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（一、十の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 1 の問題が5問以上正解。</li> <li>B P 1 1 の問題が3問以上正解。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（部分積がみな2けた及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>937 \times 4</math>、<math>537 \times 3</math>の筆算のしかたを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（部分積がみな2けた及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算のしかたを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数×1位数（部分積がみな2けた及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 2 の問題が10問以上正解。</li> <li>B P 1 2 の問題が6問以上正解。</li> </ul>	仮説イ <ul style="list-style-type: none"> <li><math>937 \times 4</math>、<math>537 \times 3</math>の筆算のしかたを考える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>A <math>937 \times 4</math> や <math>537 \times 3</math> の筆算の答えを求め、その説明ができる。</li> <li>B <math>937 \times 4</math> や <math>537 \times 3</math> の筆算の答えを求めることができる。</li> </ul>					
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法の結合法則について理解するとともに、3つの数の乗法が1つの式に表せることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面をとらえ、代金の求め方について考え、検討する。</li> <li>3口の乗法を式で表す。</li> <li>3口の乗法の結合法則をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの数の乗法では、前の2数を先に計算しても後の2数を先に計算しても答えが同じになることを見いだしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法の結合法則を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 3 の問題を（ ）を使って2通りのやり方で答えを求め、答えが同じになることを説明できる。</li> <li>B P 1 3 の問題を（ ）を使って2通りのやり方で答えをまとめることができる。</li> </ul>	仮説イ <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物から場面をとらえて代金の求め方考える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 答えが同じになるわけを式に表して説明できる。</li> <li>B 答えが同じになるわけを式に表すことができる。</li> </ul>					
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に習熟する。</li> <li>学習内容の理解を確認する。</li> <li>学習内容の理解を深め、算数へ興味を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「れんしゅう」をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2、3位数×1位数の計算ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 4 の問題が12問以上正解。</li> <li>B P 1 4 の問題が9問以上正解。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「たしかめ」をする。</li> <li>〔チャレンジ〕生活場面をとらえて立式し、計算する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を活用し、どんな式で解決すればよいかを考えようとしている。</li> </ul>				
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>A 既習事項を活用し、自力解決している。</li> <li>B 既習事項を活用し、解決している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2、3位数×1位数の計算手順や原理を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A P 1 5 の問題が6問以上正解。</li> <li>B P 1 5 の問題が4問以上正解。</li> </ul>	仮説ウ <ul style="list-style-type: none"> <li>生活場面をとらえて、立式し、計算する。</li> </ul>

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ 3 位数 × 1 位数(部分積がみな 1 けた)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

(2) 本時指導の考え方

本時は 2 位数 × 1 位数の学習をもとにして、3 位数 × 1 位数の計算の仕方を考える算数的活動をさせる。そこでまず見通す段階では、2 位数 × 1 位数の筆算をつくった手順を想起させ、位ごとに分けて計算すること、3 位数 × 1 位数の計算の仕方を自力で考えさせたい。そして位取り図に照らし合わせ、筆算の原理をつかませたい。それによって個々の発表から集団解決の中で 3 位数 × 1 位数の意味と筆算の関係を扱うようにしたい。そして全員で適用問題に取り組み、筆算の結びつきを考えていくことや 2 位 × 1 位数のことを大切に、筆算の仕方を確認させたい。

(3) 展開

段階	学習活動 算数的活動	予想される 児童の反応	指導上の留意点・手だて Bに到達した子への手だて Bに到達しない子への手だて	評価規準 具体の評価規準(評価方法)	準備
つかむ 5分	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1 mのねだんが 3 1 2 円のリボンを 3 m買いました。 だいはいくらで すか。</p> </div> <p>(1)立式する。 (2)前時までの学習とのちがいを考える。</p> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>3けた × 1けたの計算のしかた を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図から 3 1 2 ということがわかるので、<math>312 \times 3</math></li> <li>・ 1 mのねだん × 買った長さ = だいの式に当てはめると、<math>312 \times 3</math></li> <li>・ 問題に 3 けたの数が入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立式したわけを説明させる。</li> <li>・ テープ図を提示して数量の関係を確認する。</li> <li>・ 前時までの学習との違いを明確にする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙板書</li> <li>・ 問題文</li> <li>・ テープ図</li> </ul>
見通す 5分	<p>3 解決の見通し</p> <p>(1)結果の見通し</p> <p>(2)方法の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 900ぐらい。</li> <li>・ 900より多い。</li> <li>・ 312を300円と見て、やや多いぐらい。</li> <li>・ 位を分けて計算。</li> <li>・ 筆算。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大体いくらになりそうか、理由をあわせて確認し、解決への手がかりとする。</li> <li>・ 2 位数 × 1 位数のしかたを想起させる。</li> </ul>		
つくる 5分	<p>4 自力解決</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><math>312 \times 3</math>の計算の しかたを考える。 (仮説イ)</p> </div> <p>5 集団解決</p> <p>(1)解決結果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 300と10と2に分けた方法を位取り図と結びつけながら確認する。</li> </ul> <p>(2)気づいたことを話し合う。</p> <p>(3)筆算で解決した結果を発表する。</p>	<p>ア312を300と10と2に分けて計算する。</p> $300 \times 3 = 900$ $10 \times 3 = 30$ $2 \times 3 = 6$ $900 + 30 + 6 = 936$ <p>イ筆算です。</p> $\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}$ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 けたのかけ算で使った考え方を使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で決めた方法に取り組みさせる。</li> <li>・ 解決できた児童にはほかの方法にも取り組みさせる。</li> </ul> <p>答えを求めることができた児童には求めた手順をノートに書かせる。 前時に学習した 2 位数 × 1 位数の計算を想起させ、筆算の意味を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 300と10と2に分けた方法を取り上げ、筆算について考えた児童に発表させ、位取り図と対比させながら位ごとに分けて計算することを確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>2 位数 × 1 位数と同じ原理,手順を使って 3 位数 × 1 位数の筆算のしかたを考えている。(考え方)</p> </div> <p>A 2 位数 × 1 位数の筆算をもとに答えを求め、そのやり方を説明できる。 B 2 位数 × 1 位数の筆算をもとに答えを求めることができる。 (ノート、観察、発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画用紙</li> <li>・ マジックペーン</li> </ul>

22分	<p>(4)気づいたことを発表する。</p> <p>(5)筆算の仕方についてまとめ、筆算の意味を確かめる。</p> <p>(6)適用問題を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\begin{array}{r} 212 \\ \times 4 \\ \hline 848 \end{array}</math> <p style="text-align: center;">(仮説ア)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2けたのかけ算と同じように九九を使って答えが求められる。</li> <li>3けたのかけ算も筆算でできることがわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被乗数が3位数のかけ算でも筆算を用いて計算ができることを確認する。</li> <li>アのようなものは部分積を省けば、イの形になっていくことを押さえていく。</li> </ul> <p>ア</p> $\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 6 \cdots 2 \times 3 \\ 30 \cdots 10 \times 3 \\ \hline 900 \cdots 300 \times 3 \\ 936 \end{array}$ <p>イ</p> $\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}$ <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P10の下の図と児童のそれぞれの考えを示しながら位ごとに計算すれば、2位数×1位数と同じように九九で答えが求められることを確認する。</li> <li>唱えながら筆算をすることにより、より確かな定着を図る。</li> <li>全員で筆算形式による計算をさせ、筆算形式による計算のしかたを確かめさせる。</li> </ul>		
まとめ 3分	<p>6 学習のまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>かけられる数が3けたの計算も一の位からじゅん番にかけて答えを求めることができる。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>板書と結びつけてまとめる。</li> </ul>		
いかす 10分	<p>7 練習問題を解く。</p> <p>8 学習の振り返り ・感想ノートに記入する。</p>		<p>早く終わった時には計算ドリルを取り組ませる。 答えを書く位を教師と一緒に確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習でわかったことや授業の感想などを書かせ、発表させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>3位数×1位数(部分積がみな1けた)の筆算ができる。(表・処)</p> </div> <p>A 練習問題全問正解 B 練習問題3問以上正解(ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想ノート</li> </ul>

(4) 板書計画

<p style="text-align: center;">〔 問 題 〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 1mのねだんが312円の リボンを3m買いました。 だいはいくらですか。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                 数 直 線             </div> <p>1mのねだん × 買った長さ = 代金</p> <p>式 <math>312 \times 3 = 936</math></p> <p>答え <u>936円</u></p>	<p style="text-align: center;">〔 学 習 課 題 〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 3けた×1けたの 計算のしかたを考え よう。             </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 児 童 の 考 え 方 ・たし算・さくらんぼ ・ひっ算             </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">                 位 取 り 図             </div> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">百</th> <th style="padding: 5px;">十</th> <th style="padding: 5px;">一</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="height: 20px;"> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="height: 20px;"> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="height: 20px;"> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  312 \leftarrow \begin{array}{l} 300 \times 3 = 900 \\ 10 \times 3 = 30 \\ 2 \times 3 = 6 \end{array} \\  \hline  \text{あわせて } 936  \end{array}  </math> </div>	百	十	一										<p style="text-align: center;">〔 ひ っ 算 の し か た 〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  312 \\  \times 3 \\  \hline  936  \end{array}  </math> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  212 \\  \times 4 \\  \hline  848  \end{array}  </math> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 児 童 の  考 え             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 児 童 の  考 え             </div> </div>	<p style="text-align: center;">〔 ま と め 〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 かけられる数が3 けたの計算も一の位 からじゅん番にかけ て答えを求めること ができる。             </div> <p style="text-align: center;">〔 練 習 問 題 〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  231 \\  \times 3 \\  \hline  693  \end{array}  </math> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  310 \\  \times 2 \\  \hline  620  \end{array}  </math> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  104 \\  \times 2 \\  \hline  208  \end{array}  </math> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  203 \\  \times 3 \\  \hline  609  \end{array}  </math> </div> </div>
百	十	一													